

各 位

**【飲食店 DX】 端末の共通化で驚異のコストパフォーマンスを実現  
埼玉県「馬車道」に、テイクアウト・入店・注文を統合した最新システムを導入  
～「テーブルショット」を全方位に活用し、操作性と導入コスト低減を両立～**

外食産業向け DX ソリューションを提供する株式会社アルファクス・フード・システム（本社：山口県山陽小野田市、以下「AFS」）は、埼玉県を中心に展開するイタリアンレストラン「ピッツェリア馬車道」において、ハードウェアの共通化により、下記のとおり、最新の「セルフ・ソリューション」を提供しております。

■ **開発の背景：DX 導入のハードル「コストと複雑さ」を解消**

多くの飲食店が DX を検討する中で、用途ごとに異なる端末を導入することによる「高額な投資コスト」と「操作の複雑化」が課題となっています。AFS はこの課題に対し、定評のある自社端末「テーブルショット」を 多目的に活用することで、シンプルかつ低コストを実現できるように店舗運営を提案しています。

■ **本システムの革新的な特徴**

端末・ディスプレイの共通化による高いコストパフォーマンスとして、テイクアウト受付、入店時の注文受付、そして各客席のテーブルオーダーに至るまで、すべて同一の「テーブルショット」端末および壁掛けディスプレイを活用。ハードウェアを共通化することで、導入コストの大幅な削減と、メンテナンスの効率化を同時に実現しました。

■ **直感的な「数字入力」オーダーで、迷わない操作性**

各客席のテーブルオーダーには、誰でも直感的に操作できる「数字入力方式」を採用。メニューブックを見ながら番号を入力するだけで注文が完了するため、デジタル操作に不慣れなお客様でもスムーズにご利用いただけます。

■ **全ての注文状況を一元管理**

テイクアウトの注文状況から店内の入店注文まで、壁掛けディスプレイでリアルタイムに可視化。スタッフは店舗全体の状況を一目で把握でき、キッチン連携と合わせて「オペレーションの見える化」を促進します。

AFS は、高機能でありながら「導入しやすさ」を追求した製品開発を、今後も継続してまいります。今回の馬車道様での成功事例は、既存のオペレーションを維持しつつ、最小限のコストで最大級の省力化効果を実現する、次世代飲食店モデルの指針となるものです。

今後も全国の飲食店に向けて、「接客の質を高めるための省力化」を推進してまいります。単なる効率化に留まらず、店舗スタッフがより付加価値の高い、クリエイティブなサービスに集中できる環境を創造してまいります。

---

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社アルファクス・フード・システム

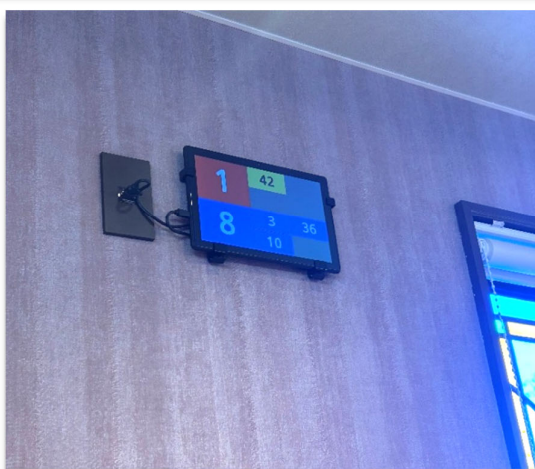
担当：坂本、曾ノ木      メールアドレス：sss\_sales@afs.co.jp

【店内写真】

■ 伝統のブランドイメージと先進機能の両立

「ピッツェリア馬車道」は、明治時代の洋館をイメージした重厚な内装と、高いホスピタリティで知られるブランドです。今回のシステム導入にあたり、AFSは「店舗の持つ上質な雰囲気損なわない」ことを重視しました。

客席に設置された「テーブルショット」は、あえて複雑な操作を排除し、メニューブックの番号を入力するだけの直感的なUIを採用。デジタルに不慣れなお客様にもストレスを与えず、馬車道様が大切にされている「ゆったりとした時間」をテクノロジーの力で守り、高めることに成功しています。



以上